

令和3年度第1回鶴岡市地域包括支援センター運営協議会議事録（概要）

- 日 時 令和4年1月25日（火）午後1時50分～午後2時20分
新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じweb参加も可能とした
- 会 場 鶴岡市役所別棟2号館 21～23号会議室
- 出席委員（敬称略）
小林達夫、齋藤邦夫、屋代高志、福原晶子、吉野進、鎌田剛、中嶋悦、三浦瞬
- Web参加委員（敬称略）
清野肇、長澤祐子、秋庭知典、清和ゆう
- 欠席委員（敬称略）
佐藤豊継、深澤一雄、伊藤貫正、
- 市側出席者 健康福祉部参事兼長寿介護課長 天然せつ、長寿介護課課長補佐 五十嵐龍子、
同課主査 石井美喜、上林一志、同課高齢者支援専門員 野尻文栄、大川美紀子
同課主任 高橋宏知、同課主事 工藤徳将、
地域包括ケア推進室長 佐藤清一、同室主査 佐藤正
藤島庁舎市民福祉課長 長谷川郁子、羽黒庁舎市民福祉課長 佐藤美香、
榎引庁舎市民福祉課長 前田郷子、朝日庁舎市民福祉課長 小野寺智子、
温海庁舎市民福祉課長 加藤早苗
- 公開・非公開の別 公開
- 傍聴者の人数 0人

- 次 第 鶴岡市地域包括支援センター運営協議会
1. 開会
 2. 交代委員紹介
 3. 報告・協議
 - (1) 地域包括支援センターの運営状況について
 - (2) 指定介護予防支援ケアマネジメント業務委託について
 - (3) 令和3年度地域包括支援センター運営方針並びに
各地域包括支援センター運営活動計画について
 - (4) 地域包括支援センターの事業評価について
 - ① 全国指標による事業評価結果について
 - ② 地域包括支援センター相談実績について
 - ③ 住民全体の介護予防活動の状況について
 - ④ 認知症地域支援体制づくりの状況について
 4. その他
 5. 閉会

○報告・協議内容（議長：福原晶子会長）

3. 【報告】(1)～(3)一括報告

- (1) 地域包括支援センターの運営状況について【資料1】（説明：長寿介護課主査 石井美喜）
- (2) 指定介護予防支援ケアマネジメント業務委託について【資料2】
（説明：長寿介護課高齢者支援専門員 大川美紀子）
- (3) 令和3年度地域包括支援センター運営方針並びに各地域包括支援センター
運営活動計画について【資料3】（説明：長寿介護課主任 高橋宏知）

【質問・意見等】

[議長] 地域包括支援センターの運営状況、特に権利擁護業務に関して、虐待事例が多くなっていると思います。高齢者・障がい者の虐待よりも昨今子供に関する虐待がニュース等マスコミで取り上げられることが多いと思いますが、表に出てこないような高齢者への虐待は肉体的にも

経済的にもあると思います。虐待事例への介入、そしてその後いったん解消されても長く続くものだと思います。施設入所等で虐待する側とされる側が分離されることで解消されても、経済的な虐待等はそうはいかずに同居がそのままの形で続くと、いったん解消された虐待も再発することも多いかと思いますが、虐待の再発を防ぐにあたり適切な対応等心掛けていることはありますか。

[事務局] 高齢者虐待対応では施設入所等の分離が図られるケースもありますが、分離に至らないケースもあります。分離に至らないケースにおいては例えば介護負担が背景にある場合、既にサービスを利用している場合はケアプランのサービス内容を変更して介護負担の軽減等を図ることや、経済的虐待の場合はご本人が年金の管理等ができないために年金の搾取が行われている場合であれば福祉サービス利用援助事業や成年後見制度の活用を図りながら対応しております。対応後のフォローでは、ケアマネジャーや社協、後見人等の関係者との連携を図り、虐待の再発防止に向けた支援を実施しています。

[議 長] 専門家チームだけでなく、地域包括ケアという考え方からいくと、まさしく町内会・ご近所さん・民生児童委員など、日々の細かいところは身近にいらっしゃる方々からの情報提供が大事だと思いますので、情報収集やネットワークづくりが大切ですのでよろしくお願いします。

3. 【報告】(4)①～④一括報告

(4)地域包括支援センターの事業評価について

- ①全国指標による事業評価結果について【資料 4-1】(説明：長寿介護課主査 石井美喜)
- ②地域包括支援センター相談実績について【資料 4-2】(説明：長寿介護課主任 高橋宏知)
- ③住民全体の介護予防活動の状況について【資料 4-3】
(説明：長寿介護課高齢者支援専門員 大川美紀子)
- ④認知症地域支援体制づくりの状況について【資料 4-4】
(説明：長寿介護課高齢者支援専門員 大川美紀子)

【質問・意見等】

[議 長] 地域包括支援センター全国平均と比べてみても、どの地域包括に関しても積極的に広範囲な活動をしていただいていることが良く分かります。この1～2年はコロナ渦で大変な中、訪問などもしづらい中でここまでの活動をして頂いてありがたいと思います。

通いの場等せっかく作っても、コロナ渦で計画が途中で頓挫してしまったり、上手く運営が出来ていないというようなことが実際はあるのかと思いますが、何か事例がありましたら教えてください。

[事務局] コロナ渦で、活動が縮小している団体はいくつかあります。当課では、いきいき百歳体操に取り組む各団体へ1年毎に活動支援をしております。その連絡の際に、団体の状況を確認しながら、再開が困難であれば無理強いせず、あらためて連絡するなどしています。あわせて、感染症対策やコロナフレイル等に関する啓発も行っています。

生活支援コーディネーターをはじめとする地域包括支援センターのみなさまからは、地域の様子を情報共有していただく機会も多く、今後も各団体の活動が継続されるよう連携して支援してまいります。

[議 長] この1～2年は活動しづらい状況であったと思いますが、途切れることなく支援は続けていただければと思っています。

4. その他

特になし